

東京電力原発事故に関する県の取組(全体像)

放射性物資の各分野への影響

農林水産物

- ・農林畜産物
- ・水産物
- ・流通食品
- ・農用地 ・牧草
- ・稲わら ・粗飼料
- ・堆肥 ・漁場

生活環境全般

- ・空間放射線
- ・学校・幼稚園等
- ・放射性降下物
- ・水道
- ・下水道

産業活動

- ・港湾
- ・工業用水道
- ・県産工業製品

明らかになった課題

①広範囲に及ぶ影響の判明

②暫定許容値を超えた品目

- ・牧草 ・稲わら ・牛肉
- ・堆肥 ・下水道汚泥
- ・浄水発生土

③風評被害の深刻化

④県民の健康に対する不安

更なる対策

監視・測定態勢の整備

- ・県全域に亘る監視網の整備
- ・分析監視の拠点施設の整備

県民一体となった取組の推進

- ・県民会議の創設
- ・東京電力原発事故対策本部の設置
- ・行政組織の強化

県民不安の払拭に向けた取組

- ・相談窓口の設置 ・情報の公開
- ・正しい知識の習得
- ・安全安心な食材の提供
- ・健康影響への検討
- ・損害賠償請求

東京電力原発事故に対する県の取組・課題への対応概要

		調 査 内 容	
1 各分野への放射性物質の影響	放射性物質の各分野への影響		
(1) 生活環境全般		・ 県南地域での定点毎日測定 ・ 全市町村定点毎日測定 ・ 可搬型モニタリングポスト常時監視 ・ 航空機モニタリング県全域調査 ・ 校庭・園庭空間 ・ 屋外プール水 ・ 放射性降下物 ・ 水道水 ・ 浄水発生土 ・ 下水汚泥	①11地点〔県南東部5地点, 県南西部5地点, 県庁前1地点:地上1.0m〕 ①58地点×2か所〔地上0.5m, 地上1.0m〕 ①県庁舎屋上 ①県内「線量測定マップ」及び「土壌濃度マップ」の作成・公表 ①全施設〔1,622校・園・所, 6～7月調査〕 ①49施設〔各3回調査, 6～8月〕 ①県庁屋上(8月) ①広域水道3浄水場(企業局), ②水道浄水場(市町村) ①仙南仙塩広水(南部山), ②大崎広水(麓山・中峰), ③水道浄水場(市町村) ①流域下水道5処理場(仙塩, 鹿島台, 大和, 石巻, 石越)
(2) 農林水産物		・ 農林畜産物 ・ 米 ・ 野菜, 麦, 果物等 ・ 魚介類 ・ 牛肉 ・ 牧草, 牧草土壌 ・ 事故後収集稲わら ・ トウモロコシ, イネ, 麦わら ・ 牛ふん堆肥 ・ 水田土壌, 畑土壌, 転換畑土壌 ・ 海水	①全頭検査(汚染稲わら給餌), ②全戸検査(汚染稲わら給餌無し) ①仙南, ②仙北クーラーステーション, ③岩出山集乳所〔定点3地点〕 ①予備調査〔134地点〕, ②本調査〔400地点〕 ①野菜, 麦, 茶, 果樹, ②林産物〔山菜, シイタケ, タケノコ, キノコ〕 ①沿岸・沖合魚, 貝類, 軟体類等, ②淡水魚(アユ, ヤマメ) ①市場牛肉 ①牧草, ②牧草土壌 ①事故後収集稲わら ①飼料用トウモロコシ, ②飼料用イネ, ③麦わら ①抽出検査約100検体〔8～9月〕, ②個別検査400検体〔9～10月〕 ①水田土壌〔13地点〕, ②畑土壌〔4地点〕, ③転換畑〔2地点〕 ①仙台湾3地点
(3) 産業活動		・ 港湾 ・ 空間放射線 ・ 工業用水 ・ 工業用水道 ・ 県産工業製品 ・ 残留放射能	①仙台塩釜港〔2地点〕, ②石巻港〔1地点〕 3地点 ①仙台塩釜港〔2地点〕, ②石巻港〔1地点〕 3地点 ①仙塩工水, ②仙台北部工水, ③仙台圏工水 ①1日1企業6件〔0.5μSv/h以下の製品〕

明らかになった課題

①広範囲に及ぶ影響の判明	②暫定許容値を超えた品目	③風評被害の深刻化	④県民の健康に対する不安
--------------	--------------	-----------	--------------

対 策 項 目		内 容	
1 監視体制	更なる対策	・ 放射線分析・監視拠点 ・ 全県域監視網 ・ 検査機能	①(新)原子力センター建設・運用 ①固定型(7基), ②可搬型(32基) ※女川原子力発電所監視分を除く ①9保健福祉事務所・支所 ①簡易検査機器12機〔と畜4, 魚市場5, 土壌堆肥2, 粗飼料1〕 ②精密検査機器 4機〔と畜1, 農林水産物1, 降下物1女川1〕
2 組織体制		・ 庁内横断組織 ・ 行政組織 ・ 県民組織	①「東京電力福島第一原子力発電所事故対策本部」設置 ①原子力安全対策課への昇格 ①「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」設置
3 県民不安の払拭		・ 情報の公開 ・ 相談窓口 ・ 正しい知識の習得 ・ 健康影響検討調査 ・ 損害賠償, 生活支援	①「放射能情報サイトみやぎ(HP)」の開設・運営 ①相談受付(平日9時～17時) ①職員研修会の開催(9/7) ①学校における放射線等の対応に関する研修会の開催(6/28) ①県域3ブロック研修会(10～11月) ②仙南ブロック研修会(9～10月) ③みやぎ食の安全安心消費者モニター・農産加工関係者研修会(10月) ①県民不安解消に向けた健康影響調査等の取組の検討 ①実質買い上げ, ②畜産農家への金融支援(つなぎ融資)